

# 学校図書館支援センター通信 NO.96 1月号

平成27年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）



## 新年、明けましておめでとうございます！



塩焼小学校 読書講演会「もったいないばあさん」から考える。自分たちにできること！

11月25日（水）に、絵本作家 真珠 まりこ 様をお招きして、読書講演会が開催されました。「もったいない」をテーマに、低学年の部と高学年の部の2回に分けて、講演が行われました。「もったいないばあさん」の絵本は、ご自身のお子様からの「もったいないってどういう意味？」という、何気ない問いかけに答える形で生まれたのだそうです。

講演会は、真珠先生の優しく楽しい読み聞かせから始まりました。「どんな時にもったいないばあさんが出てきたの？」という先生の問いかけに、子どもたちは「もったいないことをした時！」と元気良く答えていました。続いて「もったいないばあさんのいただきます」「もったいないことしてないかい？」「まほうのくにへ」「てんごくとしごくのはなし」と、次々と読み聞かせをしてくださいました。マジマジさん役を務めた先生方や子どもたちと一緒に魔法の呪文をかけたり、絵描き歌を歌いながらもったいないばあさんを描いたりしながら、真珠先生の物語の世界に会場中が引き込まれていきました。「もったいない」は、ケチではなく最後まで大事に使う無駄のない生活をする事で、自然の恵みや、物を作ってくれた人達への感謝と思いやりの気持ちが込められているのだそうです。

講演を聞き、真珠先生へ子どもたちから様々な質問が出されました。その中で、ノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんとの関係についての質問がありました。真珠先生もお会いになられたことがあるそうです。マータイさんは「もったいない」という日本語に感銘を受けられ、Reduce（ゴミ削減）、Reuse（再利用）、Recycle（再資源化）+ Respect（尊敬の念）が、込められている言葉だとおっしゃられたそうです。そして、この美しい日本語を、環境を守る世界共通語「MOTTAINAI」として広めることを提唱したのだそうです。（参照：<http://mottainai.info/site/>）

真珠先生は、「もったいないばあさんのワールドレポート展」という活動もされています。

これは、（参照：<http://marikoshinju.com/content/worldreport/>）地球で起きている問題と私たちの暮らしとのつながりを伝える活動だそうです。子どもたちに、命の大切さを伝える「もったいない」ということばともったいないばあさんのメッセージから、世界中で起きている問題について、自分と世界を繋げて、自分

にできることを考えましようと呼びかけました。

最後は「もったいないばあさん音頭」を全員で踊って楽しい時間は終了となりました。ご家庭でも「もったいないかるた」をしながら自分たちの生活を見直してみれば、いかがでしょうか。



## 図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

昨年まで7月と12月に、3週間ずつ読書週間として行ってきた朝読書が、今年度から通年になりました。最初は、本の準備に手間取った生徒もいましたが、今はどのクラスも毎朝10分間、静かに本の世界を楽しんでいます。

1年間取り組んだ成果が、どのような形で現れるのか楽しみです。図書委員会では、絵本をもとにパネルシアターを毎年1本作ります。生徒が監督を務め、BGMや効果音を入れて、暗い中で幻想的に光る絵を操作しながら演じます。

今年の秋も文化祭と百合台小の体験学習で発表しました。  
市川市立第三中学校 学校図書館員 小山 敬子



## 市川市立妙典中学校放送委員会「オレンジキャンペーン」放送朗読

妙典中学校放送委員会は、「いじめ撲滅 オレンジキャンペーン」の一環として放送朗読を企画し、いじめをなくすために、自分たちで選書した図書を放送で朗読しました。11月26日は「わたしからありがとう（中島啓江）」を3人の委員がリレー形式で読みました。放送時間が10分と限られているため、内容を吟味し、放送開始直前まで、練習していました。放送委員会は、1～3年生で構成され、決められた曜日に活動をしているそうです。この日は、2年生が校外学習のために不在でしたが、手際の良い3年生の指示で、テキパキと放送が進行していききました。日本一の放送委員会を目指して活動しているみなさんの意欲的な姿勢に、いじめを許さない強い気持ちと、人を思う優しさを感じられました。学校図書館には、人の優しさや温かさを感じることでできる図書がたくさんあります。ぜひ、みなさんも一度、手にとって読んでみてはいかがでしょうか。



## 百合台小学校 学校図書館ボランティア「百合台小読み聞かせの会」12月1日（火）

百合台小学校では、学校図書館ボランティアの方々が、毎月、読み聞かせを行ってくださいます。今月は、読み聞かせだけでなく、学校図書館のデータ整理を手伝ってくださいました。5～6人のグループで手際よく作業を行ってくださり、多くの図書のデータを整理することができました。データを整理することで、子どもたちが学習に必要な図書を探す際に、とても便利になります。市川市では、多くの学校や幼稚園で、保護者や地域の方々によるボランティアの皆様が、学校図書館を通して子どもたちの読書活動や学習活動を支えてくださっています。



『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。  
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

